Dance Drill All Japan Competition 2026-2027

Dance Challenge Cup

大会要項

1. 大会名称 Dance Challenge Cup / ダンスチャレンジカップ

2. 期　　日 ＷＥＳＴ　2026 年 12 月 26 日(土)、27 日(日)
ＥＡＳＴ　2027 年 1 月 6 日(水)、7 日(木)
映像審査　2026 年 12 月 13 日(日) 映像提出〆切・1 月下旬審査結果送付予定

3. 会　　場 ＷＥＳＴ　茨木市文化・子育て複合施設おにクル(大阪府茨木市駅前 3-9-45)
ＥＡＳＴ　有明コロシアム(東京都江東区有明 2-2-22)

4. 主　　催 NPO(特定非営利活動法人)ミスダンスドリルチーム・インターナショナル・ジャパン

5. 大会参加費 「諸経費の上昇に伴い、2026 年 9 月より価格を改定いたします。」
1 エントリー毎、チーム参加費 **25,000 円**(5 名分の参加費含む)参加者 1 名追加につき **5,000 円**追加。4 名以下で参加の場合もチーム参加費 25,000 円が必要となる。

6. エントリーについて

① 参加同意書について
本大会要項・ルールブックをはじめ本法人の定める諸規定・ルールを確認・了承の上、代表者・選手・保護者の理解の元に参加同意を得た上で本大会へエントリーすること。
大会参加にあたり“参加同意書”(ホームページ Top ページ右上“各種書類”より取得)をエントリー受付完了後、速やかに**参加同意書提出フォーム**より提出すること。
提出フォームはチーム登録完了後、お知らせする出場団体専用ページに掲載する。

② エントリー受付
＊ エントリー総数には上限がある。エントリーは先着順。(予定エントリー定数は特設ページに掲載)
＊ エントリーは WEB 上のフォームで行う 1.チーム登録と Excel シートで行う 2.選手登録の二段階で行う。
＊ 1.チーム登録及び 2.選手登録の受付をもってエントリーとする。

③ 複数部門へのエントリー
＊ 1 名につき同日内 2 エントリーまで可。
＊ 複数部門に出場する場合は重複関係がわかるよう 2.選手登録シートに記載すること。

④ 映像審査
＊ 規定に則り撮影・提出された映像をもって審査を行う。
＊ 撮影方法および提出方法は別紙「映像審査撮影ガイドライン」(ホームページ内“各種書類”より取得)を参照。
＊ 映像提出について
2026 年 12 月 13 日(日)までに出場団体専用ページに公開する映像審査提出フォームより提出すること。
＊ 審査結果送付時期

2027 年 1 月下旬に発送予定。

＊ 映像審査はエントリー総数に上限はない。

⑤ エントリー方法およびエントリー期間

＊ 特設ページより参加希望の日時・会場を選択の上、1.チーム登録を行うこと。

WEST 申込　2026 年 9 月 30 日(水) 12 時～24 時まで

EAST 申込　2026 年 10 月 7 日(水) 12 時～24 時まで

映像審査申込　2026 年 10 月 14 日(水) 12 時～24 時まで

＊ 申込期間中でもエントリー定数に達した時点でエントリーを締め切る。

＊ エントリー締め切り後(エントリー当日予定)に大会事務局より確認メールを送信する。
確認メールを受信するまで電話での問い合わせ・受付前の入金は行わないこと。

＊ 2.選手登録シートは確認メールに記載のリンク先より取得すること。

＊ 2.選手登録シート提出期限

ＷＥＳＴ	2026 年 10 月 4 日(日)中
ＥＡＳＴ	2026 年 10 月 11 日(日)中
映像審査	2026 年 10 月 18 日(日)中

＊ 大会参加費入金期限

ＷＥＳＴ	2026 年 10 月 7 日(水)中
ＥＡＳＴ	2026 年 10 月 14 日(水)中
映像審査	2026 年 10 月 21 日(水)中

＊ パンフレット掲載用写真の提出期限　※映像審査提出不要
タイムテーブル確定版掲載後、下記の期日までに出場団体専用ページにある写真提出フォームより提出すること。

ＷＥＳＴ	2026 年 11 月 12 日(木)中
ＥＡＳＴ	2026 年 11 月 19 日(木)中

⑥ エントリーの注意事項

＊ 1.チーム登録フォームに入力漏れ、不備があった場合は**無効**となる。

＊ 2.選手登録シートは **Excel 形式**のみ受付可。Numbers・PDF 等その他のファイル形式は受付不可。

＊ エントリー後の増員、メンバー変更は参加費の入金期日までに修正した 2.選手登録シートを再度提出すること。

＊ 同一内容のエントリーを複数行った場合は同一団体からのすべてのエントリーを**無効**とする。

＊ 1.チーム登録後の大会区分・出場日の変更はできない。

＊ 理由の如何にかかわらず**大会参加費は返還しない。**

7. 大会時の引率・音響係について

● 引率登録

★ 大会当日はエントリーごとに引率 2 名を登録・帯同することができる。

★ 引率の登録はエントリー時に 2.選手登録シートに記載すること。
エントリー時に引率者が確定していない場合は引率予定者を記入し確定後速やかに再提出すること。

★　登録費は不要。大会当日は登録選手と行動を共にすることができる。

- 引率について
  - ★　引率責任者は **18 歳以上**に限る。
  - ★　引率登録者は別に定める大会規約に則り大会出場に関するチームの責任の一切を負う。
  - ★　大会当日の選手受付は引率登録者が行うこと。
    受付には必ず登録した引率者(最大 2 名)が揃って来ること。
    その際、顔写真付の身分証明書のチェックを行う。
    詳細は後日、出場団体専用ページに掲載される注意事項にて確認すること。
- 音響係について
  - ★　引率登録者内で大会当日の音響係を定めること。
  - ★　大会当日、持参した音源再生用デバイスでの再生に不備がないか確認すること。
  - ★　本番演技時音響席にて持参した**音源再生用デバイス**(デジタルオーディオプレイヤーまたはスマートフォン)を使用して音源の再生を行う。
    主催者が準備をする 3.5mm ステレオミニプラグ(イヤホンプラグ)を持参した音源再生用デバイスに自身で接続すること。
  - ★　音源再生用デバイスに収めたものと同様の予備音源(USB メモリ)を持参すること。
  - ★　13 項「演技前、演技中の中断について」(2)、(3)の申告・申請の判断をすること。

8. 実施部門/部門毎の審査ポイント及び編成

※下記にあるテクニックとは各年代・チームにあったテクニックを指す。

① Challenge Pom 部門・Song/Pom 部門

※Tiny 編成、Masters 編成は Challenge Pom 部門のみの実施となる。
POM を生かし視覚的効果のある構成と正確でシャープなアームモーションが求められる。
※全員で全体の 80%以上 POM を使用すること。

② Jazz 部門

ダンステクニックと振付・音楽が融合した構成、技術の正確性とバレエベーシックが求められる。

③ Hip Hop 部門

音楽と調和した連続性のある構成と技術の正確性、ボディコントロールが求められる。

④ Dance Drill 部門

設定されている部門以外のダンスジャンルであること。
各ジャンル(プロップ/メジャーレット/フラッグ等)の特徴を生かした構成が求められる。

⑤ Solo 部門※Tiny 編成は実施なし

ダンステクニックと振付・音楽が融合した構成、技術の正確性とバレエベーシックが求められる。
また、1 人でどこまで会場を魅了できるかが重要となる。
上記①～④までのジャンルがベースになっている事が望ましい。

⑥ Duet 部門※Tiny 編成は実施なし

各ジャンルのダンステクニックと振付・音楽が融合した構成、技術の正確性が求められる。
上記①～④までのジャンルがベースになっている事が望ましい。

9. 編成と出場資格

編成	出場資格
Tiny	出場選手全員が未就学児の編成
Mini	出場選手全員が小学校 4 年生以下
Youth	出場選手全員が小学校 6 年生以下
Junior	出場選手全員が中学生以下
Senior	出場選手全員が高校生以下
Masters	30 歳以上の選手を含む編成
Open	年齢による出場制限なし

10. 出場人数、演技時間

部門	出場人数	演技時間
Challenge Pom、Song/Pom、Jazz、Hip Hop 部門	3 人以上	2 分 15 秒以内
Dance Drill 部門	3 人以上	2 分 30 秒以内
Solo 部門	1 人	1 分 30 秒以内
Duet 部門	2 人	1 分 30 秒以内

※演技時間とは、動き出しもしくは曲の始まりから、動き終わりもしくは曲の終わりまでとする。

※入場は最初の選手が演技フロアに入ってから演技開始まで 15 秒以内とする。

11. 評価について

★ 下記点数によりエントリー選手全員にそれぞれ金、銀、銅のメダルが送られる。

メダル	銅	銀	金
点数	～69 点	70～79 点	80 点～

12. 演技フロア

a) 演技フロアは 12m×18mとする。別紙を確認のこと。

b) 演技フロアの中央に縦のラインを引く。さらにセンターポイントとして横に 1 m ラインを引く。

c) 全ての演技は演技フロアの中で行わなければならない。

d) 演技フロアの保護のため、床に傷や跡のつく恐れのあるシューズは避けること、また、安全面を考慮して、ダンスに適したシューズを着用すること。(ヒール、革靴、サンダル等は不可)
また演技に使用するバトン、プロップ等の先端や床との設置面にゴム等を装着し床に傷を付けない処置をすること。

13. 音源について

a) 10 項が定める演技時間内に収まるよう編集すること。

b) 編曲されている場合でも 1 曲として編集すること。

c) 違法ダウンロードによる楽曲(サンプル楽曲含む)を使用しないこと。

d) タイムテーブル発表後、下記提出期日までに別紙「大会使用音楽届出」(ホームページ Top ページ右上“各種書類”より取得)に必要事項を入力の上、出場団体専用ページに公開する大会使用音楽届出提出フォームより提出すること。

★ 大会使用音楽届提出期日

＜W E S T＞2026 年 12 月 19 日(土)中

＜E A S T＞2026 年 12 月 26 日(土)中

＜映像審査＞2026 年 12 月 13 日(日)中

e) 出場に関しての留意事項

曲の歌詞は、全ての観客が聞くに相応しいものであるよう最大限の努力をすること。

日本語以外の歌詞の楽曲を使用する際はその歌詞に不適切な言葉がないか必ず確認をすること。

14. 演技前、演技中の中断について

(1) 怪我等の発生、施設・音響機材の不具合、道具類のトラブル等の不測の事態が発生した場合は主催者の判断で演技を中断することができる。

(2) チームの音響係による主催者音響スタッフへの申告で演技を中断することができる。

(3) 演技の中断が発生した場合、再演技の申請をすることができる。

(4) 再演技は 1 曲通しで行うこととし審査は演技中断以降の部分のみが対象とする。

(5) 再演技の可否および実施タイミングは主催者が判断する。

(6) チームの過失による中断は原則再演技を認めない。

(7) チームの過失による演技順の変更は原則行わない。

15. セーフティガイドライン

本大会では安全に競技を行うため下記のセーフティガイドラインを設定する。

A. シューズを必ず着用すること。(スキンシューズなどのダンスに適したシューズは可)

B. 手具（ポンポン、バトンなど）を持った状態での演技フロア上での体重をかける技やタンブリングは禁止。(ストールなどを含む)

例外：前転・後転・ショルダーロールは認められる。

C. 空中から足の裏以外で着地することは禁止とする。技の失敗もこれに含む。

ただし腰の高さを上回らない空中からであれば肩、背中、座位での着地は実施可。

いかなるジャンプからでも、腕立て伏せのポジションでの着地は実施可。

D. 空中で回転を伴うアクロバット技については一人で行うこと。(バックフリップ、側宙、バク転など)

E. ペアやグループで行う技は下記の条件下で実施可とする。

① トップの選手の両足が床から離れる場合、他者に体重がかかる手・トップを支える手には、乗り込みから着地まで何も持たない状態で行うこと。

② トップの選手の高さの上限はベースの選手の肩の高さでの直立姿勢とする。

③ トップの選手の腰がベースの選手の頭の高さを超える場合、ベースを 3 人以上つけること。

④ フロアへの着地の際、ベースの選手がトップの選手を投げ上げてはならない。

⑤ ベースの選手は乗り込みから着地までトップの選手に触れていること。

＊但しベースの選手が馬飛び姿勢以下の高さからであれば飛び乗ること、プッシュオフ、ジャンプ、リープなどで着地することは可。

⑥ 前後方向の回転を伴う乗り込み・フロアへの着地は禁止とする。

F. Challenge Pom 部門【Tiny/Mini/Youth/Masters 編成】

上記 A～D に加えて下記の規定を順守すること。

＊ Turn

➢ ピルエットはパッセのみ 2 回転まで実施可。アームスのポジションの変更は不可。

スポットは正面で行うこと。

- シングルピケ、シェネは 2 連続まで実施可。
- フェッテターン、イリュージョンターン、スコーピオンターン、アティチュードターンは実施不可。

＊ Jump&Leap

- スタートから着地までに足のポジションや体の向きが変わるものは実施不可。
  例：実施可　トウタッチ、ジュッテなど
  実施不可　スイッチリープ、ジュッテ＋セカンドなど
- 回転を伴うものは実施不可。（ソデバスク、カリプソなど）

＊ コンビネーション

- 2 連続まで実施可。（シングルピケ+シェネ、ジュッテ 2 連続、ピルエット+トウタッチなど）
  ※コンビネーションとは、テクニックとテクニックの間に 1 カウント以上のステップやポーズ、振付を挟まず連続して行うことを指す。

＊ アクロバット

- 前転・後転・ショルダーロールのみ実施可。

＊ ペア・グループ

- 床から離れずに体重をかける・かけ合う技は実施可。
- リフトは実施不可。
- 他者とつながった状態でリープ・ジャンプは実施不可。
  例：実施可　ヒッチキック、X ジャンプなど
  実施不可　ジュッテ、フライアウェイなど

G. Challenge Pom 部門【Junior/Senior/Open 編成】

上記 A～D に加えて下記の規定を順守すること。

＊ Turn

- ピルエットは 2 回転まで実施可。足のポジションは自由とする。
- シングルピケ、シェネは 2 連続まで実施可。
- フェッテターンはグランフェッテ、アラセゴンフェッテのみ、シングルターン 3 周まで可。脚のポジション及びスポットの変更は不可。他の技と繋げてはならない。
  実施は演技を通して 1 箇所までとする。
- イリュージョンターン、レッグホールドターン、スコーピオンターン、アティチュードターンは実施不可。

＊ Jump&Leap

- スタートから着地までに足のポジションや体の向きが変わるものは実施不可。
  例：実施可　トウタッチ、ジュッテなど
  実施不可　スイッチリープ、ジュッテ＋セカンドなど
- 回転を伴うものは実施不可。（ソデバスク、カリプソなど）

＊ コンビネーション

- 2 連続まで実施可。(シングルピケ+シェネ、ジュッテ 2 連続、ピルエット+トウタッチなど)
  ※コンビネーションとは、テクニックとテクニックの間に 1 カウント以上のステップやポーズ、振付を挟まず連続して行うことを指す。

＊ アクロバット
- 前転・後転・側転・ショルダーロールのみ実施可。

＊ ペア・グループ
- 床から離れずに体重をかける・かけ合う技は実施可。
- リフトは実施不可。
- 他者とつながった状態でリープ・ジャンプは実施不可。
  例：実施可　ヒッチキック、X ジャンプなど
  実施不可　ジュッテ、フライアウェイなど

H. その他、審判員が危険とみなした行為。

16. ペナルティ(全部門共通)

① エントリー資格を有さない者が出場した場合、**失格**とする。
② エントリーした選手以外、または多い人数が出場した場合、**失格**とする。
③ 10 項が定める演技時間を 5 秒超過した場合は結果より **2 点減点**する。
④ 12 項 d) 演技フロア保護の為の適切な処置がされなかった場合、**失格および修繕の為の実費を請求する。**
⑤ 13 項 c) 違法ダウンロードによる楽曲(サンプル楽曲含む)の使用が発覚した場合、**失格**とし発覚のタイミングを問わず**結果をはく奪**する。
⑥ 15 項が定める禁止事項一回の実施につき、結果より **2 点減点**する。
⑦ 審判員が危険とみなした行為を実施した場合、その程度により**警告**、**減点**、**失格**とする。
⑧ その他、本大会要項及び別に定める大会規約に反した場合、その程度により**警告**、**失格**とする。

17. 共通審査項目

フロア全体を使い SHOW UP された観客を魅了するパフォーマンスとその完成度が要求される。
部門ごとのテクニックにおいて難度の高さがすべてではない。
未熟なものは逆に作品の完成度を下げてしまうことになる。

【演技内容】
a) チーム／部門ごとのオリジナリティある演技。
b) 多様なフロアの使い方、フォーメーションの連続性のある移り変わり。
c) 技の難度がチームのレベルにあっていること。

【実施】
- 正確さ。(一致した動き、人と人との間隔が均等であることなど)

【演技者としての自覚】
- 観客を楽しませる表情、表現力、アピール。

【身だしなみ・楽曲】
- 音楽・衣装・振付・メイクは選手の年齢に適したすべての年代の観客にふさわしい内容であ

ること。
公序良俗に反する挑発的・攻撃的・性的・下品な表現/ものを避けること。

- 不適切な音楽・衣装・振付・メイクは審査員の採点に影響を与える可能性がある。
- すべての衣装は安全かつクリーンで過度な露出は控えること。スカート・ブリーフ・ホットパンツ等、丈の短い衣装の場合は必ずタイツを着用すること。演技中の着衣の乱れはその程度により警告、減点、失格となる場合がある。
- 衣装の一部としてアクセサリーを着用することは可。但し、ネックレス等を含む装飾品全てにおいて、演技中に顔にかかったり、危険のないようにしっかりと固定すること。
- 工夫を凝らした美しい衣装。(年齢に合ったものを着用し、観客に不快感を与えるものは避けること。)

18. 大会に関するお問い合わせ

NPO(特定非営利活動法人)ミスダンスドリルチーム・インターナショナル・ジャパン
問い合わせメールアドレス：info@dancedrilljapan.com
ホームページ http://www.dancedrilljapan.com/
郵送での提出先：〒102-0083 東京都千代田区麹町 2-5-20 押田ビル 3F　電話番号 03-3556-6080

減点項目に関する演技内容の質問は該当箇所を撮影した映像データを添付して大会二週間前までにメールすること。